

【主な内容】 2019年10月連休の観光予報

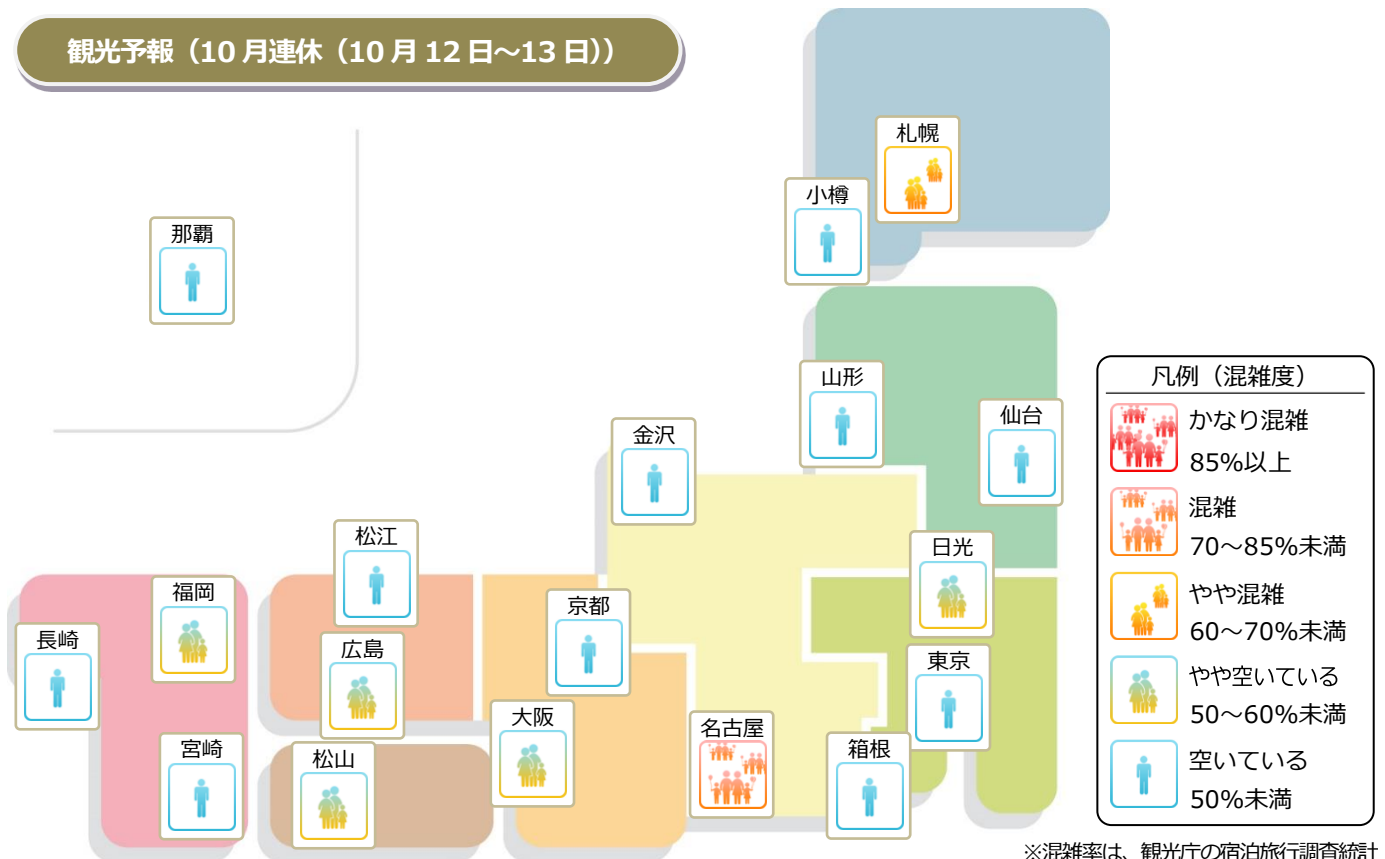
Topics：第3回観光予報プラットフォーム活用コンテストの結果のお知らせ

連載企画 vol1：観光予報プラットフォームを活用したAI活用型高度データ共有化プラットフォームの実証について

2019年10月連休の観光予報

2019年9月15日現在にみる2019年10月連休（10月12日～13日）の観光予報は、名古屋で混雑、札幌でやや混雑が予想されており、全国的に比較的空いている状況となっています。

観光予報（10月連休（10月12日～13日））



※混雑率は、観光庁の宿泊旅行調査統計の稼働率を参考に設定しています。

【東日本】

主要観光地	北海道		東北		関東			中部	
	札幌市	小樽市	仙台市	山形市	日光市	東京（港区）	箱根町	金沢市	名古屋市
10月連休予想数	80,311	6,566	51,969	11,414	47,307	46,344	46,885	17,313	102,093
日本人比率	89.8%	80.1%	97.5%	96.1%	98.1%	86.5%	78.0%	87.7%	79.5%
外国人比率	10.2%	19.9%	2.5%	3.9%	1.9%	13.5%	22.0%	12.3%	20.5%
増減率(対前年)	56.8%	78.5%	109.4%	55.1%	175.6%	75.2%	153.5%	75.8%	118.8%

【西日本】

主要観光地	関西		中国		四国	九州			沖縄
	京都市	大阪市	松江市	広島市	松山市	福岡市	長崎市	宮崎市	那覇市
10月連休予想数	62,922	141,385	13,390	38,619	29,763	76,639	17,220	20,528	17,085
日本人比率	76.1%	66.1%	100.0%	92.7%	100.0%	87.3%	97.3%	97.6%	83.2%
外国人比率	23.9%	33.9%	0.0%	7.3%	0.0%	12.7%	2.7%	2.4%	16.8%
増減率(対前年)	67.1%	86.0%	121.4%	85.5%	124.8%	133.6%	96.4%	223.9%	35.7%

※増減率(対前年)：宿泊予想数／前年の宿泊実績数（データ取得方法を変更した過渡期にて、増減率の振れ幅が大きく出る場合がございます。引き続き推計精度の向上に努めてまいります。）

※2018年3月以降は見直しを行った推計方法による推計値を用いています。このため過去との比較においては、異なる推計方法で算定した推計値との比較となっています。

第3回 観光予報プラットフォーム 活用コンテスト 2019

審査結果の お知らせ

「観光予報プラットフォーム」を活用し、観光動向の把握やマーケット分析を実施し、観光振興を進めている事例も多くみられるようになりました

こうした取り組みを国内外の観光関係者に周知・啓発し、観光による地域活性化の支援を目的に、2017年度から地域の優れた取組や学生からの提案を募集し、その中でも特に優れた取組みを表彰する「第3回 観光予報プラットフォーム活用コンテスト」を開催しました。

多数のご応募ありがとうございました。ここに、その審査結果をお知らせいたします。

コンテストの結果概要

応募数は、全7件（地域部門2、事業者部門2、学生部門3）ありました。

頂きました応募について、「**先駆性**」、「**生産性**」、「**持続性**」、「**発展性**」、「**社会性**」の観点から厳正な審査の結果、各賞について以下のように決定いたしました。なお、事業者部門の部門賞は、残念ながら該当はありませんでした。

【大賞】	〔地域部門〕	一般社団法人	白馬村観光局
【部門賞】	〔学生部門〕	首都大学東京	自然文化ツーリズムコース4年有志
【特別賞】	〔学生部門〕	三浦学苑高等学校	

大賞
【地域部門】

受賞者 一般社団法人 白馬村観光局（長野県白馬村）

取組名 観光予報プラットフォームデータ+気象データ+地域固有データのミックスによる
地域固有の特性を反映された精度の高い宿泊需要予測の仕組みづくり

【取組みの目的】

白馬村では、スノーリゾートが楽しめる時期を中心にインバウンドを含め宿泊需要は増加傾向にある。こうした近年の傾向を契機にインバウンド客等に対し、効果的なプロモーションを行いたいと考えているが、白馬村では小規模な宿泊施設が多く、その数量に関する情報取得に苦慮し、観光・リゾート等を目的とする正確な宿泊者の把握が難しくなっている。

しかし、観光・リゾート地での地域間競争が激しくなる中では、宿泊者総数だけでなく、その特性（期間的特性、宿泊者の属性特性など）を把握しながら、データに基づき、地域の魅力向上に資する取り組みを効率的・効果的に推進していくことが必要である。

このため、観光予報プラットフォームの宿泊実績データ、気象データ、そして地域固有のデータを活用し、精度の高い宿泊実績の把握、宿泊需要を予測する仕組み（システムを含む）づくりを目指している。

【取組みの概要】

現在は、国の統計データ、観光予報プラットフォームでの宿泊データなどを活用し、白馬村等における宿泊実績を整理しているが、十分に実態が反映されていないのが現状である。

このため、まず、村内の宿泊施設からの宿泊実績、村内観光施設の利用者数データ（道の駅の利用者数・スキー場リフト券販売数等）などの地域データを収集し、これらのデータに観光予報プラットフォームの宿泊実績データ、気象データを加え、データ間の相関を分析、宿泊需要に対しての影響度の高いデータを抽出した。

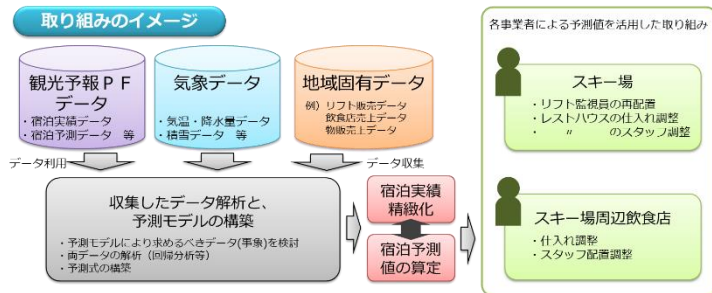
その上で、抽出したデータは、いわば白馬地域の観光特性を示す主要指標となるデータであり、これらのデータを用いて、A I 機能を付加した宿泊者数の推計モデルの構築を行った。このモデルの構築により、宿泊実績、及び需要について一定の精度向上が図られた。また、日別、宿泊者の属性別に宿泊実績、及び需要を把握することも可能となった。

■白馬エリアでの取組み概要

取り組みの目的

- 『観光予報プラットフォーム』を通じて取得することのできる宿泊データ、白馬エリアにおける地域固有データ、気象データなどを活用し、宿泊需要予測の精緻化を検討。
- 宿泊需要予測の精緻化に加え、白馬エリアにおけるレジャー施設や飲食店などの需要予測への反映を行うことで、各施設の事業効率の向上を目指す。

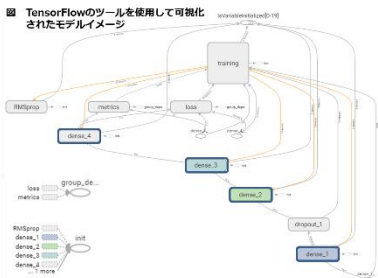
取り組みのイメージ



■ 宿泊需要予測モデルの開発について

■構築したニューラルネットワークモデルの概要

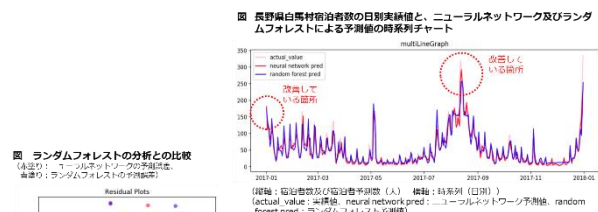
- ✓ ニューラルネットワークは、入力データに様々な値を足したり掛けたりする領域（層）を重ねて予測値を求めていく分析方法
 - ✓ まずはその構成をみる。時々使われるデータの場、リサレントニューラルネットワーク（RNN）や1次元畳み込みニューラルネットワーク（1次元CNN）と呼ばれる特別な層の質が提供されることが多い。今回は全結合と呼ばれる基本的な層の要素を認識したネットワークを構築
 - ✓ 作成したネットワークにデータを投入し、学習を繰り返すことで予測モデルを構築
 - ✓ 予測モデル構築には、機械学習のフレームワークであるTensorFlowを利用
- 図 TensorFlowのツールを使用し可視化されたモデルイメージ
-



■ 宿泊需要予測モデルの開発について

■構築したニューラルネットワークモデルの概要

- ✓ ニューラルネットワークによるモデルは、ランダムフォレストの予測と比較すると、より実績値に近づいている箇所が複数見られ、予測精度が改善していることがわかる。



評価の ポイント

○地域の観光産業を担う中小サービス事業者や地域の観光戦略を担う自治体、観光協会、DMO 等が参考となる地域が一体となった宿泊需要予測モデルである。

○宿泊者×気象×地域固有データを掛け合わせ、AI 機能を付加させたデータ分析により、より細かい宿泊者特性が把握可能となり、結果的にデータ精度の向上に繋がった点が高評価。

○データに基づく観光戦略が進む中、実績主流の分析に予測という視点が加わり、中小サービス事業者の生産性の向上、さらに気候に左右されるスキーリゾートに対応した需要予測が可能となった。

部門賞 [学生部門]

受賞者 首都大学東京 自然文化ツーリズムコース4年有志（東京都八王子市）
取組名 観光予報プラットフォームを利用した自然災害による観光地への風評被害の早期払拭を目的とするより効果的な復興キャンペーン提案に向けた示唆 ―北海道胆振東部地震を対象に―

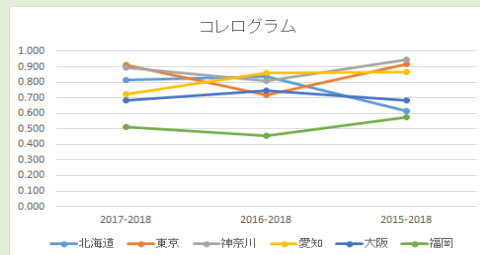
研究では、市単位・日別で宿泊客数を取得し、自然災害が観光産業に与えた影響を明らかにした。自然災害による観光産業への影響に注目する研究は多く、定量分析の手法も提案されている。一方で、市区町村単位での宿泊客数や観光入込客数が全国的に統一した基準で取られていないため、マクロな分析が多い。しかしながら、自然災害の被害がそれほど大きくなかった場合、都道府県単位ではどの地域に影響があったのか明らかに出来ない可能性がある。

研究では、2018年9月に発生した北海道胆振東部地震を対象とし、まず、観光予報プラットフォームの宿泊実績データよりデータを取得し、震災後の宿泊産業への被害を考察した。

クロス集計「宿泊日×居住都道府県」「宿泊日×参加形態」のデータを用いて属性ごとの宿泊者数変動を大まかに把握した。続いて、災害の発生した2018年と例年の動向に相違があるか比較するために、観光予報プラットフォームの単純集計宿泊実績における居住地域(TOP10)から2015年1月～2019年6月までのデータを取り、各都市の自己相関を求め、近年の宿泊動向傾向の把握と地震が発生した2018年における変化をみた。

さらに、復興キャンペーンに関する研究はまだ少ないため、宿泊客の属性から、自然災害後の観光産業に好影響を与えると考えられる復興キャンペーンのターゲット層を把握し、今後の効果的なキャンペーン実施への提言を行いたい。

＜札幌宿泊客数における各都市の自己相関＞



評価の ポイント

- 復興予測という難しいテーマを学生が取り組んだ視点が高く評価できる。
- 宿泊日を基準にしたミクロ分析を行っていることから、データ精度の高さも伺え、今後の効果的な復興キャンペーン施策の指標として、事業化が期待できる。

特別賞 [学生部門]

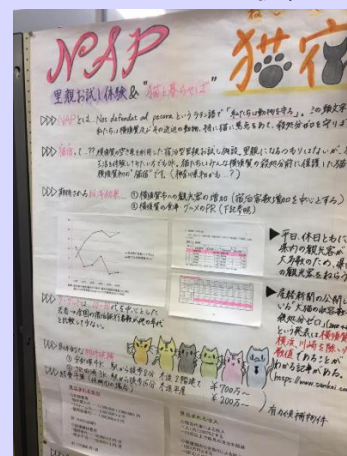
受賞者 三浦学苑高等学校（神奈川県横須賀市）
取組名 ビッグデータを活用した観光教育

「未来の教室」（経済産業省）のJTB実証事業において、その実証事業校として、観光教育を実施した。対象生徒は、本校特進コース1・2年生51名で、「知る！気づく！動く！知恵を出す！わくわくする！」「足でかせぐ！裏を取る」を心構えとし、「総合的な学習の時間」にて取り組んだ。

生徒たちはJTB横須賀支店の方や横須賀市観光課の方の話を聞いたうえで、10のグループに分かれ、自分たちでテーマを設定した。その間、観光予報プラットフォームに全員が登録し、必要に応じてデータを抽出し、活用・分析に用いた。その他、観光用アプリを使用し、経済効果の算出を行った。また、教室外での学びを重要視することを伝え、フィールドワークを奨励した。

発表当日は、地元の小泉進次郎代議士や経済産業省教育産業室長の浅野大介氏の他、観光庁、横須賀市役所、横須賀市観光協会など約50名が参観する中、生徒達はプレゼンテーションとポスターセッションを行い、来場者の投票によりグランプリを決定した。

＜グランプリとなった提案＞



評価の ポイント

- 学生による提案内容は、地域の宿泊動向をビッグデータから把握し、地域資源を活用した再編集、観光による経済効果まで測った高レベルな内容であった。
- 学校が主体となって取り組む観光教育の先進事例である。学生が地域の観光資源に関心を持つことから、地域のアイデンティティの醸成、次世代の人材育成に繋がる取り組みである。

コンテスト表彰式

受賞団体の表彰式は、令和元年10月25日（金）、インテックス大阪にて開催されるツーリズム EXPO ジャパン会場において執り行います。

日時：令和元年10月25日（金） 10:30～12:00

場所：ツーリズム EXPO ジャパン会場内 インテックス大阪 セミナールーム③

観光予報プラットフォームを活用した A I 活用型高度データ共有化プラットフォームの実証について

実証の目的

観光立国推進基本法の成立を契機に、政府は、成長を牽引する産業として、観光産業の活性化への取組みを加速させています。しかし、現場では観光産業を担う事業者の大半が中小サービス事業者であり、高齢化に伴う後継者不足などにより蓄積されたノウハウ（経験・知見）が失われつつある。中小サービス事業者は、蓄積されたノウハウ（経験・知見）をもとに経営し、必要なデータの蓄積もないため、急激な時代の変化への対応ができず、新たな商品・サービス開発への足取りも重く、データ分析をもとに展開する大企業に押され、経営は衰退傾向にあります。この傾向は、各地域の観光施策を担う地方公共団体や観光関連団体（観光協会・DMO等）も同様であり、地域経済が低迷する現在、観光施策の立案に必要なデータ取得に苦慮し、戦略的な観光施策の策定ができていません。

こうした背景を踏まえ、観光産業を基軸とした「中小サービス事業者」と「地方公共団体・観光関連団体」に、最適なデータを提供し、データに裏づけられた確かな商品やサービスの開発・提供、観光に関連する戦略の策定を支援することを目的に、**観光予報プラットフォームを活用したA I 活用型高度データ共有化プラットフォーム**の構築を目指すこととします。

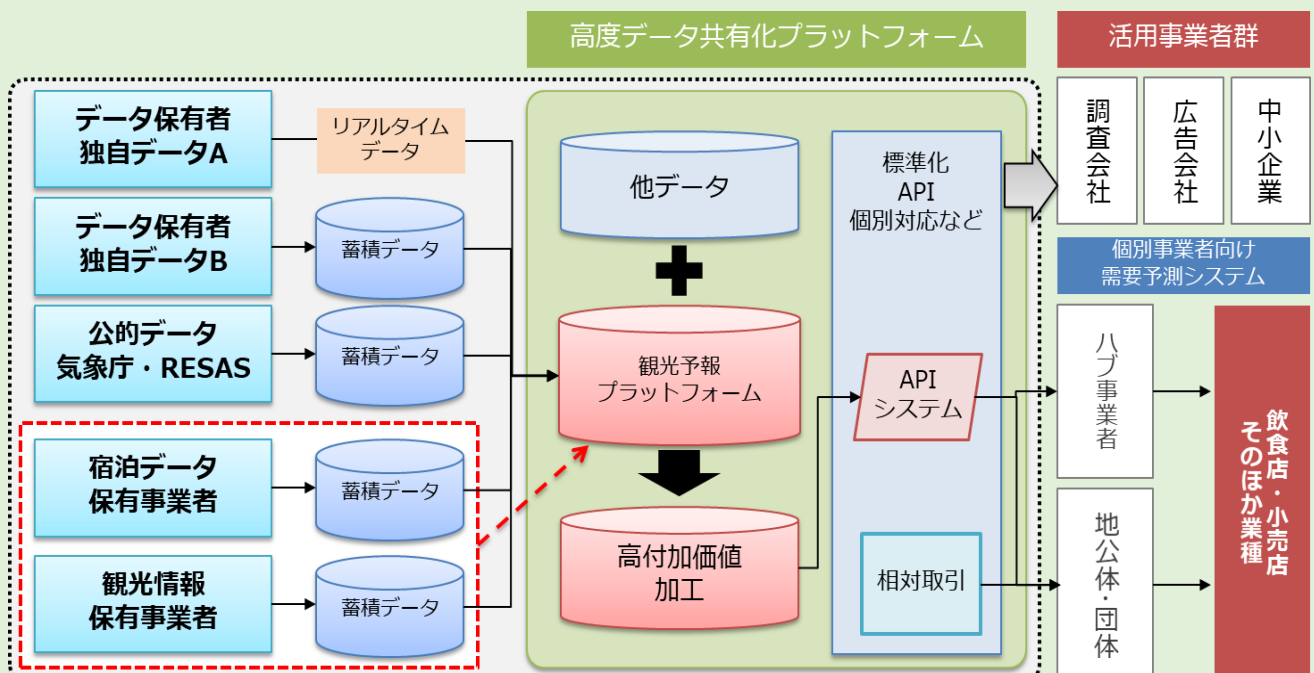
今後は、この取組みについて、連載でご報告していきます。

実証の概要

目的を達成するため、以下のシステムの構築を目指し、構築後は、皆さまに広く利用できる環境づくりを進めます。

- ① 宿泊実績・予約データなど観光関連のデータを全国規模で提供する「観光予報プラットフォーム」に**観光に係るリアルタイムデータ、及び多様な事業者が保有するデータを蓄積し、データ利用希望者に容易かつ安価にデータ提供（売買）する『高度データ共有化プラットフォーム』**を構築します。
- ② 『高度データ共有化プラットフォーム』では、サービス事業者や地方公共団体等にとって有意なデータ提供を実現すべく、A I 機能を導入し、**近未来の需要予測データを推計・提供するシステム**、蓄積データや推計データを活用した**観光関連の取組みによる経済波及効果を推定するシステム**を構築する予定です。

【観光予報プラットフォームと連動した需要予測システム概念図】



8月の宿泊実績データ

データ更新日：2019年9月15日

各都道府県 の主な市町村	宿泊実績			前年 同比	宿泊者居住地ランキング			
					日本人居住地ランキング		外国人居住地国ランキング	
	総数	日本人	外国人		1位都道府県	割合(%)	1位の国	割合(%)
札幌市(北海道)	1,375,143	1,183,900	191,243	87.8%	北海道	18.8%	中国	29.7%
小樽市(北海道)	111,385	91,500	19,885	92.4%	東京都	16.6%	中国	30.1%
青森市(青森県)	224,384	217,554	6,830	118.1%	東京都	22.7%	台湾	37.9%
盛岡市(岩手県)	248,471	242,399	6,072	109.1%	東京都	24.5%	台湾	77.5%
仙台市(宮城県)	737,290	728,521	8,769	111.9%	東京都	20.7%	台湾	54.8%
秋田市(秋田県)	169,110	167,136	1,974	101.1%	東京都	21.7%	台湾	52.6%
山形市(山形県)	342,429	340,907	1,522	109.4%	東京都	23.0%	台湾	55.5%
いわき市(福島県)	278,251	278,251	---	114.1%	東京都	25.1%	---	---
水戸市(茨城県)	149,853	149,202	651	96.5%	東京都	14.8%	データ不足のため非表示口	
日光市(栃木県)	495,770	490,212	5,558	109.1%	東京都	29.2%	台湾	25.8%
草津町(群馬県)	250,533	246,438	4,095	90.3%	東京都	25.9%	台湾	44.2%
さいたま市(埼玉県)	176,525	176,200	325	86.0%	埼玉県	11.8%	データ不足のため非表示口	
浦安市(千葉県)	861,016	786,805	74,211	83.6%	大阪府	11.8%	中国	65.2%
港区(東京都)	1,108,018	828,474	279,544	99.9%	大阪府	9.0%	中国	36.9%
箱根町(神奈川県)	518,232	476,898	41,334	103.7%	東京都	32.3%	中国	33.1%
湯沢町(新潟県)	726,232	725,850	382	115.0%	東京都	32.2%	アメリカ合衆国	73.3%
富山市(富山県)	150,964	142,410	8,554	83.8%	東京都	24.3%	台湾	46.0%
金沢市(石川県)	349,828	326,922	22,906	87.4%	東京都	22.8%	台湾	41.8%
あわら市(福井県)	368,148	365,614	2,534	102.5%	大阪府	21.1%	香港	59.1%
富士河口湖町(山梨県)	582,392	500,148	82,244	73.6%	東京都	25.2%	中国	58.0%
松本市(長野県)	134,261	129,878	4,383	67.0%	東京都	24.0%	台湾	43.5%
高山市(岐阜県)	340,575	310,860	29,715	87.2%	愛知県	19.4%	台湾	30.4%
熱海市(静岡県)	390,904	368,961	21,943	87.4%	東京都	33.9%	中国	88.7%
名古屋市(愛知県)	1,166,484	1,064,760	101,724	90.6%	東京都	19.8%	中国	52.7%
鳥羽市(三重県)	394,714	387,450	7,264	85.4%	大阪府	19.0%	中国	79.1%
大津市(滋賀県)	361,426	338,251	23,175	104.1%	大阪府	22.1%	台湾	43.4%
京都市(京都府)	1,474,937	1,166,952	307,985	98.1%	東京都	23.8%	中国	39.9%
大阪市(大阪府)	2,768,543	2,219,616	548,927	94.5%	東京都	18.6%	中国	68.0%
神戸市(兵庫県)	505,711	478,673	27,038	83.5%	東京都	14.1%	中国	44.5%
奈良市(奈良県)	205,967	183,156	22,811	101.4%	東京都	25.8%	中国	76.7%
白浜町(和歌山県)	221,485	212,377	9,108	88.1%	大阪府	32.2%	中国	35.0%
米子市(鳥取県)	155,424	152,854	2,570	92.1%	大阪府	15.3%	韓国	39.1%
松江市(島根県)	172,330	171,301	1,029	98.2%	東京都	18.0%	香港	36.6%
岡山市(岡山県)	297,630	287,177	10,453	101.7%	東京都	21.8%	台湾	50.9%
広島市(広島県)	630,363	619,940	10,423	103.6%	東京都	22.7%	中国	41.1%
山口市(山口県)	170,681	170,432	249	118.3%	東京都	12.8%	オーストリア	49.0%
鳴門市(徳島県)	114,126	112,032	2,094	112.0%	大阪府	28.9%	香港	78.1%
高松市(香川県)	158,334	148,963	9,371	89.9%	東京都	25.4%	中国	44.7%
松山市(愛媛県)	443,899	427,296	16,603	114.7%	東京都	17.4%	台湾	39.9%
高知市(高知県)	234,557	232,404	2,153	86.9%	東京都	13.4%	台湾	51.4%
福岡市(福岡県)	765,420	647,418	118,002	97.4%	東京都	13.7%	韓国	53.3%
嬉野市(佐賀県)	58,145	53,838	4,307	107.1%	福岡県	23.4%	台湾	41.7%
長崎市(長崎県)	187,080	179,069	8,011	101.3%	東京都	12.4%	韓国	35.4%
熊本市(熊本県)	264,741	252,604	12,137	79.6%	東京都	16.3%	台湾	47.6%
別府市(大分県)	321,013	299,737	21,276	93.7%	福岡県	16.7%	韓国	38.3%
宮崎市(宮崎県)	128,870	122,837	6,033	94.3%	福岡県	16.8%	香港	34.8%
鹿児島市(鹿児島県)	314,700	290,317	24,383	102.2%	東京都	14.9%	台湾	31.4%
那覇市(沖縄県)	561,480	474,102	87,378	86.8%	東京都	19.7%	中国	42.6%

※2018年3月より、見直しを行った推計方法にて算定した推計値を掲載しています。

※データ数が少ないために発生する過度な偏りが見られる地域は、比率表示をしていません。

10月の宿泊予測データ

データ更新日：2019年9月15日

各都道府県 の主な市町村	宿泊予約数（10月）			翌月 （11月）	宿泊予約者居住地ランキング			
					日本人居住地ランキング		外国人居住国ランキング	
	総数	日本人	外国人		1位都道府県	割合(%)	1位の国	割合(%)
札幌市(北海道)	721,561	608,452	113,109	940,680	北海道	32.5%	中国	41.8%
小樽市(北海道)	73,621	58,047	15,574	100,640	北海道	18.7%	中国	24.9%
青森市(青森県)	140,918	96,034	44,884	92,482	東京都	16.8%	タイ	35.1%
盛岡市(岩手県)	124,934	114,047	10,887	132,681	東京都	20.4%	台湾	78.0%
仙台市(宮城県)	470,848	430,338	40,510	513,562	東京都	13.2%	台湾	40.6%
秋田市(秋田県)	76,519	74,255	2,264	88,424	東京都	16.9%	台湾	88.8%
山形市(山形県)	119,893	110,881	9,012	99,578	東京都	21.7%	台湾	38.8%
いわき市(福島県)	165,072	164,733	339	167,233	神奈川県	21.9%	データ不足のため非表示	
水戸市(茨城県)	117,259	113,986	3,273	89,874	神奈川県	13.5%	データ不足のため非表示	
日光市(栃木県)	402,733	362,538	40,195	443,917	東京都	19.4%	台湾	33.7%
草津町(群馬県)	208,798	192,890	15,908	225,758	東京都	15.8%	韓国	20.0%
さいたま市(埼玉県)	143,385	132,307	11,078	155,646	埼玉県	15.6%	スイス	73.3%
浦安市(千葉県)	829,266	751,629	77,637	944,430	愛知県	11.8%	中国	70.0%
港区(東京都)	609,267	430,195	179,072	672,362	北海道	13.8%	オーストラリア	29.2%
箱根町(神奈川県)	549,371	378,752	170,619	738,324	東京都	26.4%	中国	25.3%
湯沢町(新潟県)	109,425	99,387	10,038	117,841	埼玉県	51.1%	台湾	79.9%
富山市(富山県)	65,346	56,208	9,138	107,395	東京都	9.9%	台湾	47.8%
金沢市(石川県)	197,654	167,056	30,598	266,467	東京都	18.3%	台湾	34.4%
あわら市(福井県)	122,341	121,390	951	176,498	愛知県	15.2%	データ不足のため非表示	
富士河口湖町(山梨県)	314,799	128,621	186,178	371,007	東京都	23.3%	タイ	33.6%
松本市(長野県)	277,952	183,512	94,440	167,507	東京都	21.3%	台湾	36.2%
高山市(岐阜県)	210,777	142,645	68,132	205,482	愛知県	17.0%	タイ	17.9%
熱海市(静岡県)	275,196	257,840	17,356	336,305	神奈川県	22.4%	中国	89.8%
名古屋市(愛知県)	827,745	663,188	164,557	1,035,509	東京都	19.5%	中国	77.8%
鳥羽市(三重県)	159,255	156,472	2,783	233,742	愛知県	16.5%	タイ	62.6%
大津市(滋賀県)	145,199	129,188	16,011	202,277	東京都	14.0%	台湾	50.3%
京都市(京都府)	972,926	603,727	369,199	1,275,873	東京都	21.3%	アメリカ合衆国	12.7%
大阪市(大阪府)	1,685,933	1,109,925	576,008	2,213,145	東京都	16.2%	インドネシア	37.3%
神戸市(兵庫県)	343,645	303,051	40,594	431,299	大阪府	11.9%	台湾	28.5%
奈良市(奈良県)	112,631	91,874	20,757	159,448	東京都	16.3%	中国	76.2%
白浜町(和歌山県)	144,982	118,967	26,015	197,557	大阪府	27.9%	台湾	31.5%
米子市(鳥取県)	98,890	94,813	4,077	127,081	広島県	10.5%	香港	63.2%
松江市(島根県)	129,868	125,362	4,506	161,734	東京都	15.9%	ニュージーランド	43.3%
岡山市(岡山県)	204,927	186,265	18,662	274,370	東京都	14.5%	中国	49.6%
広島市(広島県)	361,511	320,802	40,709	445,585	東京都	18.7%	アメリカ合衆国	34.6%
山口市(山口県)	68,080	65,681	2,399	79,753	広島県	16.0%	韓国	93.3%
鳴門市(徳島県)	44,718	43,625	1,093	60,669	大阪府	21.3%	香港	82.5%
高松市(香川県)	110,639	82,418	28,221	108,627	東京都	23.7%	中国	46.2%
松山市(愛媛県)	228,225	216,272	11,953	289,323	東京都	13.1%	韓国	29.8%
高知市(高知県)	143,219	141,047	2,172	174,708	東京都	11.4%	台湾	65.5%
福岡市(福岡県)	766,804	642,499	124,305	931,942	東京都	18.9%	台湾	35.7%
嬉野市(佐賀県)	51,581	38,360	13,221	86,331	福岡県	24.8%	中国	50.7%
長崎市(長崎県)	151,104	136,888	14,216	190,442	東京都	20.5%	アメリカ合衆国	71.4%
熊本市(熊本県)	185,861	174,229	11,632	188,184	東京都	20.3%	台湾	62.8%
別府市(大分県)	219,047	181,231	37,816	248,374	福岡県	23.3%	イギリス	24.9%
宮崎市(宮崎県)	204,638	192,538	12,100	216,496	東京都	16.7%	アメリカ合衆国	71.6%
鹿児島市(鹿児島県)	174,551	166,976	7,575	212,575	東京都	18.2%	中国	38.3%
那覇市(沖縄県)	213,647	177,915	35,732	260,664	東京都	21.4%	台湾	39.8%

※2018年3月より、見直しを行った推計方法にて算定した推計値を掲載しています。

※データ数が少ないために発生する過度な偏りが見られる地域は、比率表示をしていません。

有料会員メニューのご案内

観光予報プラットフォームでは、より精度の高い宿泊データの提供に向け、宿泊取り扱いデータ数の拡充を宿泊取り扱い事業者様の協力を得るべく取り組んでいます。2017年11月からは、これまでに比べ3割増とデータ量を増やし、提供しています。

また、広域行政圏などの広域エリアで観光振興に取り組むDMOなどの支援などを目的に、最大10市区町村（県域を越えても設定可）での集計を可能とします。皆様の地域戦略へご活用ください。

 観光予報プラットフォーム		無料会員 フリープラン	有料会員	
		¥0	定期配信オプション無 一般：¥10,000/月 地域：¥5,000/月	定期配信オプション込 一般：¥15,000/月 地域：¥8,000/月
マイページ	週間観光予報	○	○	○
	今日の動向	○	○	○
観光予報機能	週間予報	○	○	○
	月間予報	○	○	○
	データ表示	×	○	○
観光実績集計機能	日別集計	○	○	○
	月別集計	○	○	○
	グラフで見る	○	○	○
	過去データ比較(新規)	×	○	○
	データ表示	×	○	○
	クロス集計:固定	○	○	○
	クロス集計:複数(新規)	×	○	○
地域の資源情報	地域のポテンシャル	○	○	○
レポート機能	月間レポート	○	○	○
	定期配信レポート	×	×	○
地域選択(新規)		2地域	10地域まで選択可	10地域まで選択可

※上記プランは全て税別表記。地域の対象は自治体・観光協会・DMOが対象。日本観光振興協会 正会員は1割引。

宿泊データ活用のご案内

観光予報プラットフォームでは、日本全体の宿泊データのうち、1億2200万泊以上（2018年12月末現在）のサンプリングデータ（店頭、国内ネット販売、海外向けサイトの販売）を抽出し、宿泊者数実績、予測データを算出しています。データは都道府県または市区町村単位でご利用いただけます。

ご利用可能なデータについては、下記**宿泊データ・宿泊予報データ**の他、それらを活用した**集計プラン**（エリア指定、任意項目のクロス集計データ等）や**地域加工データ**（宿泊データより細かく集計した詳細データ等例：市区町村別平均宿泊料の集計・属性分析・来訪者ランキング等）をご提供しています。お気軽にご相談ください。

■ 宿泊データ・宿泊予報データプラン（エリア指定）

概要：指定エリアの「宿泊・予報データ」のご提供

内容：宿泊データ及び宿泊予報データ

対象エリア：1 市区町村

集計期間：直近3か月間の宿泊データ
ご契約月から3か月先の宿泊予報データ

納品回数：2回（1カ月）

データ更新頻度：2週間に1回

提供形式：Excel形式

備考：予測に必要なデータが十分に存在しない市区町村の場合は、都道府県単位でのご提供となります。

[データ内容]

項目（宿泊データ）
宿泊年月
宿泊先都道府県
宿泊先市区町村
宿泊者居住国
宿泊者居住都道府県
宿泊者総日数（人泊）

項目（宿泊予報データ）
宿泊予定月
宿泊先都道府県
宿泊先市区町村
宿泊者予測数

観光予報プラットフォームについて

観光予報プラットフォームとは、2013年1月1日以降の約1億2200万泊（2018年12月末現在）の旅行、宿泊関連の実績データと現在から6か月先までの予約状況、および中央省庁、自治体、観光関係組織・団、民間企業が公開または保有している観光に有効なデータを元に、「地域事業者や施策を計画する方」に「事業に有効な最新データ」を多言語で提供するプラットフォームです。

地域活性化に関する施策を検討する際、下記のような課題・問題に直面したことはありませんでしょうか？

- ・地域のプロモーションターゲットをどのように決めれば良いかわからない。
- ・施策のKPIを出す基準となる情報がない。
- ・所有しているデータのみで本当に施策の検討が可能なかわからない。
- ・観光に関する沢山の情報をもとにサービス構築し、検証したい。

観光予報プラットフォームは、根拠ある施策立案を行うための宿泊とそれに関連する有効なデータをご提供します。



収録データについて

国内外からの宿泊
ビッグデータを基軸に構築

日本全体の宿泊実績データの中から、約1億2200万泊（2018年12月末現在）匿名加工情報データ（旅行会社店頭、日本語ネット販売、外国語ネット販売）を元に、宿泊者数の実績、予測データを算出しています。

2週間毎に約100~300万泊
のデータを追加投入

宿泊実績データ・予約データは、2週間毎に追加しています。
追加データ量は、更新毎に100~300万泊追加され、常に最新のデータを提供しています。

約59万件以上の
地域資源データを収録

「見る」、「食べる」、「泊まる」など、利用者目線でカテゴライズした観光資源データを提供しています。特に訪日外国人へのサービス向上に資するデータを日本全国で網羅しています。

データのご利用にあたっての注意

観光予報プラットフォームで提供しているデータ、及びNEWS RELEASEに掲載しているデータは、日本全体の宿泊実績データのうち約1億2200万泊（2018年12月末現在）のサンプリングデータ（店頭、国内ネット販売、海外向けサイトの販売）を抽出し、宿泊者数の実績、予測データを独自の方法で推計しているデータです。このため、他の機関が提供している宿泊者数とは異なる可能性があります。

また、当該データを利用し、利用者等が直接的または間接的に被った一切の損害・損失・不利益等について、いかなる責任も負わないものとします。

お問い合わせ

【観光予報プラットフォーム推進協議会】

公益社団法人 日本観光振興協会・株式会社 JTB・株式会社 百戦錬磨
株式会社 オープントーン・KNT-CTホールディングス株式会社・株式会社 日本旅行

事務局：公益社団法人 日本観光振興協会 観光情報課 観光予報プラットフォーム推進チーム
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-1-1 虎の門三丁目ビルディング
TEL：03-6435-8335 E-mail：kankouyohou@nihon-kankou.or.jp